

【年度のはじめに】

京都市立下京中学校
校長 安居 昌行

京都市立下京中学校長の安居昌行です。下京中学校は、地域・保護者の皆様方の「子どもたちのためによりよい教育環境を」との熱い思いを受け、平成19年4月に5中学校が統合し、開校して今年度9年目を迎えました。地域・保護者の方々や先輩諸氏の思いや実践を受け継ぎ、引き続き学校づくりに力を注ぎたいと思います。それでは年度のはじめにあたり、所信を述べさせていただきます。

校是〈最高経営理念〉 — 志 きらめく —

志は高く 学びは深く 出会いは広く

序

今、生徒を取り巻く学校や家庭・地域の様子は、私の世代はもちろんのこと、つい数年前に中学生であった新規採用の教職員ですら、中学時代体験した状況とは大きく変わってきています。少子高齢化、情報化の進展、勤労や余暇の過ごし方の変容、国際情勢や環境問題、自然災害や人災など学校を取り巻く社会の変化も激しさを増しています。このような時、学校経営には様々な変化に柔軟に対応した取組が求められるとともに、時代を超えて変わらず価値のあるものを追及していくことも必要です。「教育における『不易』と『流行』を十分に見極めつつ、子どもたちの教育を進めていく必要がある。・・・どんなに社会が変化しようとも時代を超えて変わらない価値のあるもの（不易）があり、豊かな人間性、正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心、人権を尊重する心、自然を愛する心などを培うことは、いつの時代、どこの国の教育においても大切にされなければならない。・・・教育は同時に社会の変化に無関心であってはならない、時代の変化とともに変えていく必要があるもの（流行）に柔軟に対応していくことも教育に課せられた課題である」（第15期中央教育審議会答申「21世紀を展望した我が国の教育について」H8.7）という思いを年度のはじめに確認しておきたいと思います。

破

ところで、下京中学校は、19 学区の地域の皆さんや保護者の方々の熱い思いを受け、平成 19 年 4 月に「5 中学校」が統合して開校し、今年 9 年目を迎えました。今年度は、10 年という一定の区切りの時を翌年に控え、統合後の「一つにまとまる」、「キャリア教育の構築を柱に新たな学校づくり」といった、これまでの取組を踏まえつつ、新たな学校づくりへの一步を踏み出すための仕上げの年ともいえます。昨年度は教職員や生徒の皆さんが主体的に学校づくりにかかわり、実践・点検していく視点として『三つの「間（空間・時間・仲間）」』を意識して取り組んできました。今年度は、この視点を大切にしつつ、新たな教育活動の視点として次のキーワードを提示します。

「学習」と「生活」 の 「集団」と「習慣」
「心」と「からだ」 の 「健康」と「安全」

また、校区 5 小学校との「小中一貫教育」を推進するために 6 校共通の取組内容として、「英語」「道徳」「生徒指導」を掲げています。

急

結びに、「志きらめく」という校是について触れておきます。

『井の中の蛙 大海を知らず』の後に『されど空の高さを知る』と言いつける言い方があります。下京中学校に集う私たちは、常に「志は高く 学びは深く 出会いは広く」ありたいと思います。一年間のはじめに、ともに仕事ができる“喜び”と、生徒とともに成長の機会を与えられている“仕合せ”を感じ、皆さんと一緒に「志きらめく」学校づくりに力を注ぎたいと思います。そして、私自身のこの 1 年間、大切にしていきたい言葉として、次の句を掲げておきます。

浜までは 海女も 蓑着る 時雨かな（瓢水）

平成 27 年 4 月 1 日

校長 安居 昌行